


課・タイトル	L12 おねがいする
ねらい	わからないことを教えてもらったり、してほしいことを伝えたり、自分がしたいことを伝えたりすることができる。

パート	L12-1 おしえて ください																																		
できること	<ul style="list-style-type: none"> 理由を言って、簡単なお願いをすることができる。 簡単な手順を聞いて、理解することができる。 																																		
場面設定	会社員のシンさんとリさんが休憩時間に話しています。シンさんは休暇を取るつもりですが、休暇届を出さなくてはいけないことを知りませんでした。																																		
場面会話	<p>用意するもの 紙コップ2つ、休暇届の用紙に見立てた紙</p> <p>指導のポイント 窓口や担当者などにやり方を聞いたり、申し込みをしたりするときに、依頼の表現「～てください」を使います。依頼を受ける人に状況がわかるように、理由や状況を添えて依頼をする話し方を練習します。</p>																																		
練習1	<p>用意するもの</p> <p>来月帰国するんですが、きゅうかどけの書きかたをおしえてください</p> <p>3時の東北しんかんせんにのるんですが、のりばをおしえてください のことばカード</p> <p>～んですが、～てください の文型カード</p> <p>動詞普通形のフラッシュカード数組</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>たべます</td> <td>たべません</td> <td>たべました</td> <td>たべませんでした</td> </tr> <tr> <td>たべる</td> <td>たべない</td> <td>たべた</td> <td>たべなかった</td> </tr> </table> <p>い形容詞普通形のフラッシュカード数組</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>あついです</td> <td>あつくないです</td> <td>あつかったです</td> <td>あつくなかったです</td> </tr> <tr> <td>あつい</td> <td>あつくない</td> <td>あつかった</td> <td>あつくなかった</td> </tr> </table> <p>な形容詞普通形のフラッシュカード、名詞の普通形フラッシュカード数組</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>げんきです</td> <td>げんきじゃないです</td> <td>げんきでした</td> <td>げんきじゃなかったです</td> </tr> <tr> <td>げんき(だ)</td> <td>げんきじゃない</td> <td>げんきだった</td> <td>げんきじゃなかった</td> </tr> </table> <p>名詞普通形のフラッシュカード・名詞普通形フラッシュカード数組</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>やすみです</td> <td>やすみじゃないです</td> <td>やすみでした</td> <td>やすみじゃなかったです</td> </tr> <tr> <td>やすみ(だ)</td> <td>やすみじゃない</td> <td>やすみだった</td> <td>やすみじゃなかった</td> </tr> </table> <p>p.242 ①の表のことばのフラッシュカード数組</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>よていが あります</td> </tr> <tr> <td>よていが ある</td> </tr> </table>	たべます	たべません	たべました	たべませんでした	たべる	たべない	たべた	たべなかった	あついです	あつくないです	あつかったです	あつくなかったです	あつい	あつくない	あつかった	あつくなかった	げんきです	げんきじゃないです	げんきでした	げんきじゃなかったです	げんき(だ)	げんきじゃない	げんきだった	げんきじゃなかった	やすみです	やすみじゃないです	やすみでした	やすみじゃなかったです	やすみ(だ)	やすみじゃない	やすみだった	やすみじゃなかった	よていが あります	よていが ある
たべます	たべません	たべました	たべませんでした																																
たべる	たべない	たべた	たべなかった																																
あついです	あつくないです	あつかったです	あつくなかったです																																
あつい	あつくない	あつかった	あつくなかった																																
げんきです	げんきじゃないです	げんきでした	げんきじゃなかったです																																
げんき(だ)	げんきじゃない	げんきだった	げんきじゃなかった																																
やすみです	やすみじゃないです	やすみでした	やすみじゃなかったです																																
やすみ(だ)	やすみじゃない	やすみだった	やすみじゃなかった																																
よていが あります																																			
よていが ある																																			

	<p>「～んですが、～てください」</p> <p>テキスト p.242①</p> <p>場面会話3コマ目の絵を見せて、会話をさせた後、セリフを見せて、「来月帰国するんですが、きゅうかどどけの書きかたをおしえてください」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「3時の東北しんかんせんにのるんですが、のりばをおしえてください」に注目させ、ことばカードを貼ります。「来月帰国します」が「来月帰国するんですが」、「3時の東北新幹線にのります」が「3時の東北新幹線にのるんですが」と「普通形+んですが」の形になっていることを確認します。その後、「～んですが、～てください」の文型カードを貼ります。</p> <p>続いて、動詞普通形のフラッシュカード、い形容詞普通形のフラッシュカード、な形容詞普通形のフラッシュカード、名詞普通形のフラッシュカードを使って普通形に活用する練習をさせます。クラス全体でいっしょに練習した後、学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで普通形に変換する練習をさせます。品詞ごとに活用ができるようになったら、次は①の表のことばのフラッシュカードを使って、句にして活用する練習をします。クラス全体で練習した後、3、4人のグループで練習をさせます。その後、1)～3)の代入練習をさせます。</p> <p>テキスト p.242-243②③④</p> <p>④は4人組にして、引率の教師 A 役の学習者に「では、9時に出発です。遅れないでください。」と言わせ、他の3人を一度解散させ、その後、Aに発話をさせます。田中さん役の学習者には遅れて戻って来させます。</p>		
練習2	<p>用意するもの</p> <p>書き方をおしえてください チケットの買い方をおしえてください のことばカード</p> <p>【動詞ます形ます】方 の文型カード</p> <p>【【動詞ます形ます】方】</p> <p>テキスト p.243②</p> <p>場面会話3コマ目の絵を見せて、会話をさせ、「書き方」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「買い方」に注目させ、ことばカードを貼ります。その後、ことばカードを見て、「書き方」「買い方」に注目させ、「【動詞ます形ます】方」の形に注目させ文型カードを貼ります。続いて、1)～3)の代入練習をさせます。</p> <p>テキスト p.244④</p> <p>④は友だち同士の普通体の会話です。④の絵を見せ、3人組にして会話を考え、練習させます。「しっていますか」が「しってる？➤」に「しりません」が「しらない」になることを確認します。</p>		
練習3	<p>用意するもの</p> <p>このかみに理由を書いて、はんこをおして、出してください</p> <p>ここにカップをおいて、このボタンをおして、まちます のことばカード</p> <p>～て、～て、～ます の文型カード</p> <p>動詞て形のフラッシュカード数組</p> <table border="1" data-bbox="341 1917 497 2018"> <tr><td>たべます</td></tr> <tr><td>たべて</td></tr> </table> 	たべます	たべて
たべます			
たべて			

	<p>「～て、～て、～ます」</p> <p>テキスト p.2443①</p> <p>場面会話3コマ目の絵を見せて会話をさせ、セリフを見せて、「このかみに理由を書いて、はんこをおして、出してください」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、p.2443のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「ここにカップをおいて、このボタンをおして、まちます」に注目させ、ことばカードを貼り、文中で述べている順に動作を確認します。動詞で形のフラッシュカードを使って、2つの動詞のます形を見て、「～て、～て」の形に活用する練習をさせます。学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで練習させます。</p> <p>テキスト p.2443①②③</p> <p>①②は使い方を説明していますが、③は毎日することを伝えていますので、分けて練習させます。</p> <p>また、①②の会話を練習した後、3、4人のグループにして、自分たちの国のバスの乗り方や道具の使い方などを教え合ったり、③の会話を練習した後、自分の一日の行動について紹介し合うといいでしょう。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>欠席届の用紙</p> <p>ウェブサイトを見る IDをとる のことばカード</p> <p>できますか？</p> <p>学校で学生のタンさんが青木先生に来月姉の結婚式で帰国すると伝えます。先生は、欠席届は書いたかと聞きます。タンさんが欠席届が何かわからないと答えると、青木先生は、休む前に理由を書いて事務所に届けるようにと教えます。そこで、タンさんは学校の事務所の受付に行き、事務員に欠席届の書き方を教えてほしいと言います。事務員が欠席届の用紙に休む日と理由を書いて、事務所に出すようにと言います。タンさんは記入した用紙を持って再度事務所に来て、事務員にこれでいいかどうか見てほしいと言います。</p> <p>これもできますか？</p> <p>留学生のAさんとBさんが話しています。AさんがBさんに日本語能力試験(JLPT)の申し込みはどうしたらいいか聞きます。Bさんは、ウェブか郵便かで申し込むと教えます。Aさんがウェブで申し込みしたいと言うと、Bさんは、JLPTのウェブサイトを見て、My JLPTのIDをとって申し込むと教えます。Aさんが難しいかと聞くと、Bさんは難しくないと答えます。続けて、Aさんが郵便の申し込み方を聞くと、Bさんは、本屋で申込書を買って、書いて、郵便で送るのだと答えます。Aさんは郵便のほうが面倒だと思い、やはりWebにするとBさんに伝えます。</p> <p>これはJLPTの実際の申し込み方です。「ウェブサイトを見る」「IDをとる」のことばカードを見せて、導入します。スマートフォンやパソコンを使って、実際にJLPTのウェブサイトを見せて、申し込み方を確認するといいいでしょう。</p>

パート	L12-2 見て いただけませんか
できること	<ul style="list-style-type: none"> 理由を言って、ていねいをお願いをすることができる。 困っていることを言って、手助けを求めることができる。
場面設定	学生のタンさんが青木先生にプライベートなお願いをします。タンさんは郵便局から来たお知らせが何かわ

	<p>からないので、学校の青木先生に聞きます。</p>
場面会話	<p>用意するもの 不在配達票(はがきなどでもよい)</p> <p>指導のポイント 手伝ってもらいたいこと、助けてもらいたいことなどの依頼のしかたを練習します。 1コマ目は、お願いしたいことがあるときの最初の声のかけ方を練習します。</p>
練習1	<p>用意するもの ゆうびんきょくからおしらせが来たんですが、見ていただけませんか かさがないんですが、かしていただけませんか のことばカード ～んですが、～ていただけませんか の文型カード 傘、ノートパソコン、教科書 動詞普通形のフラッシュカード数組、い形容詞普通形のフラッシュカード数組、 な形容詞普通形のフラッシュカード数組、名詞普通形のフラッシュカード数組</p> <p>「～んですが、～ていただけませんか」</p> <p>テキスト p.248①</p> <p>場面会話2コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「ゆうびんきょくからおしらせが来たんですが、見ていただけませんか」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「かさがないんですが、かしていただけませんか」に注目させ、ことばカードを貼ります。「んですか」の前が普通形であること、「いただけませんか」の前が動詞で形であることを確認します。L9-1で使ったフラッシュカードを使って、動詞、い形容詞、な形容詞、名詞を普通形に活用させて、「～んですが」の形で言う練習をさせます。クラス全体で練習した後、3、4人組にして、フラッシュカードを配布し、グループで練習させます。</p> <p>学習者を2人組にして、練習をさせ、発表させます。発表には傘を使うといいでしょう。続いて、1)～3)の絵を1枚ずつ見せて、場面を確認し、代入練習をします。2人組にして、1)～3)の会話を練習させ、発表させます。</p>
練習2	<p>用意するもの 電話するまえに、れんしゅうしましょう くすりをのおまえに、これを読んでください しごとをするまえに しごとのまえに のことばカード ～まえに、～ます ～のまえに、～ます の文型カード くすりの飲み方を書いた紙</p> <p>「～まえに、～ます」</p> <p>テキスト p.249①</p> <p>場面会話4コマ目を見せて、会話をさせ、セリフを見せて、「電話するまえに、れんしゅうしましょう」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せ、音声を聞かせ、リピートさせます。「くすりをのおまえに、これを読んでください」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、1)～3)の絵を見せて、代入練習をします。学習者を2人組にして、練習させます。</p>

	<p>テキスト p.249②③④</p> <p>③は、学習者に会話を考えて発表させた後、「しごとをするまえに」「しごとのまえに」のことはカードを貼り、「しごとをします」の代わりに「しごと」を使うときは、「しごとのまえに」となることに注目させます。「～まえに、～ます」「～のまえに、～ます」の文型カードを貼って、「【動詞1辞書形】+まえに、【動詞2】」という形で、動詞2の動作をしてから動詞1の動作を行うことを確認します。次に「【名詞】+のまえに+【動詞】」では、動詞の動作をしてから、名詞が表す動作を行うことを確認します。</p>		
<p>練習3</p>	<p>用意するもの</p> <p>やってみます 食べてみます のことはカード</p> <p>動詞て形のフラッシュカード</p> <table border="1" data-bbox="678 593 869 694"> <tr> <td>たべます</td> </tr> <tr> <td>たべて</td> </tr> </table> <p>お菓子 スマホのゲームアプリ、サンダル ワインに見立てたペットボトルと紙コップ 女性用の靴、石鹸</p> <p>「～てみます」</p> <p>テキスト p.250①</p> <p>場面会話5コマ目を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「やってみます」に注目させ、ことはカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「食べてみます」に注目させ、ことはカードを貼ります。おいしいかどうかわからないので、この後、実際に食べて、「あ、おいしいですね。」と言っていることを確認します。続いて、「～てみます」の文型カードを貼り、動詞て形のフラッシュカードを使って、動詞ます形を見て、「～てみます」の形に活用する練習をさせます。学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで練習させます。その後、1)2)の絵を見せて、学習者を2人組にして代入練習させ、発表させます。発表にはゲームアプリやサンダルを使うと、体験する前と後の違いを体感させることができいいでしょう。</p> <p>テキスト p.250②③④</p> <p>②④は、テキストの会話に加えて、実際に飲んだり、使ったりする場面を演じさせて、「あ、おいしいですね。」「あ、ほんとだ。」などのように実際に行ったことがわかるセリフを言わせるといいでしょう。</p>	たべます	たべて
たべます			
たべて			
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>ガス会社からのお知らせに見立てた紙</p> <p>できますか？</p> <p>学校で学生のマリさんが青木先生にお願いをします。マリさんはガス会社からのお知らせが来たのですが、よくわかりません。そこで、青木先生のところへ行き、何のお知らせか読んでもらいたいとお願いをします。先生は、ガス工事のお知らせだと言い、お知らせに書いてある電話番号に電話をするようにと言います。マリさんは電話に自信がないので、青木先生に電話をしてもらいたいとお願いをします。しかし、先生は、電話をかける前に練習をしてあげるので、自分でかけるようにと言います。マリさんはそしてみようと答えます。</p>		

	<p>これも できますか？</p> <p>アルバイトの店員のAさん、Bさんが話しています。AさんがBさんをお願いをしたいことがあって、声をかけます。Aさんは国の友だちが日本に来るので、アルバイトの日を代わってもらえないかとBさんに言います。Bさんがいつかと聞くと、Aさんは金曜日だと答えます。Bさんは、いいと答え、店長に伝えるようにとAさんに言います。Aさんは、店長に伝える前に、どう言えばいいか言い方を教えてほしいとBさんに頼みます。Bさんは「いいですよ。」と答えます。</p>
--	---

パート	L12-3 けしゴム、かして
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちに簡単なお願いをすることができる。 ・友だちに頼みにくいことを頼むことができる。
場面設定	学校で、学生のタンさんとキムさんが話しています。タンさんは消しゴムを忘れたので、キムさんに借ります。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>消しゴム2つ</p> <p>指導のポイント</p> <p>友人間の依頼の会話です。気楽に頼める内容の場合と、頼みにくい内容の依頼の両方の場合を練習します。ここでは、気楽な依頼は「～て。」を使い、頼みにくいことの場合は、「～てくれない？」を使っています。</p> <p>「～て。」「～てくれない？」を文末上昇イントネーションで言えるように練習させます。「～て。」は文末のイントネーションを下降調子にすると、命令、指示をしているように聞こえる点に注意させます。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>かして あけて のことばカード ～て の文型カード 動詞て形のフラッシュカード数組 かばん数個、かぎ、花瓶</p> <p>「～て」</p> <p>テキスト p.254①</p> <p>場面会話1コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「かして」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「あけて」に注目させ、ことばカードを貼ります。学習者を2人組にして、モデル会話の練習をさせます。イントネーションに注意させてください。その後、1)～3)の代入練習をします。</p> <p>「～ないで」</p> <p>テキスト p.254②</p> <p>②のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「あけないで」に注目させ、ことばカードを貼ります。学習者を2人組にして、モデル会話の練習をさせます。「あけないで」の語末を上昇調のイントネーションで発話するよう注意させます。その後、1)～3)の代入練習をします。1)は部屋の電気スイッチ</p>

	<p>の近くで、2)はドアの近くで、3)は花瓶を使って、演じて発話させます。イントネーションに注意させます。</p>
<p>練習2</p>	<p>用意するもの</p> <p>かしてくれない? おしえてくれない? 雨がふっているんだけど、えきまでおってくれない? のことばカード</p> <p>～てくれない? ～んだけど、～てくれない? の文型カード</p> <p>教科書、辞書、蓋つきのビン、手紙</p> <p>かばん、ノートパソコン、さいふ</p> <p>「～てくれない?」</p> <p>テキスト p.255①</p> <p>場面会話3コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「またけしゴム、わすれたから、かしてくれない?」に注目させ、「かしてくれない?」のことばカードを貼ります。続いて、②のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「ごめん。これ、おしえてくれない?」に注目させ、「おしえてくれない?」のことばカードを貼ります。その後、2人組にして演じながら会話をさせ、「～てくれない?」の文型カードを貼ります。</p> <p>次に、1)～4)の絵を見せて、場面の状況を確認した後、2人組で代入練習をさせ、辞書、ビン、電気のスイッチ、手紙などを使って発表させます。</p> <p>「～んだけど、～てくれない?」</p> <p>テキスト p.255②</p> <p>②のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「雨がふっているんだけど、えきまでおってくれない?」に注目させ、「雨がふっているんだけど、えきまでおってくれない?」のことばカードを貼ります。その後、2人組にして会話をさせ、「～んだけど、～てくれない?」の文型カードを貼ります。</p> <p>次に、1)～3)の絵を見せて、代入練習をさせます。かばん、パソコン、さいふなどを使って発表させます。</p>
<p>練習3</p>	<p>用意するもの</p> <p>きのうかしたけしゴム 友だちにもらったにんぎょう こどもが読む本 かきました もらいました よみます のことばカード</p> <p>人形3つ、本3冊、青いシャツ、学校案内のパンフレット、日本地図</p> <p>「【動詞た形】+名詞」</p> <p>テキスト p.255③①</p> <p>場面会話4コマ目の絵を見せて、会話をさせ、セリフを見せて、「きのうかしたけしゴム」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「友だちにもらったにんぎょう」のことばカードを貼り、「どんな消しゴムですか。」「どんな人形ですか。」と学習者に問いかけ、「きのうかきました」「友だちにもらいました」の部分がどんな消しゴムか、どんな人形かを説明していること、「かきました」「もらいました」がた形「かした」「もらった」に変わっていることを確認します。</p> <p>続いて、1)2)の絵を見せて、代入練習をします。</p>

	<p>「【動詞辞書形】+名詞」</p> <p>テキスト p.256③②</p> <p>次に、②のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「こどもが読む本」のこぼれカードを貼り、「どんな本ですか。」と学習者に問いかけ、「こどもが読む」の部分がどんな本かを説明していること、「読みます」が辞書形「読む」に変わっていることを確認します。</p> <p>続いて、1)2)の絵を見せて、代入練習をします。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>ボールペン3本、かばん</p> <p>できますか？</p> <p>学校で学生のマリさん、ラマさんが話しています。マリさんはラマさんにボールペンを借ります。翌日、マリさんはまたボールペンを持ってくるのを忘れたため、ラマさんにまた頼むことにします。マリさんがボールペンを貸してほしいという、ラマさんが昨日貸したボールペンはどうしたかと聞きます。マリさんは、それも家に忘れたと言います。ラマさんはしぶしぶもう一本ボールペンを貸し、昨日貸したのもいっしょに返してほしいと言います。</p> <p>これも できますか？</p> <p>友人間の依頼の会話です。①は、買い物に行って、レジで財布を忘れたことに気づきます。②は、授業の前に教科書を忘れたことに気づきます。学習者を2人組にして、自由に会話を考えさせて、発表させます。</p>

パート	L12-4 帰っても いいですか
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪いことを伝えて早退したり、休んだりすることができる。 ・理由を言って、許可をもらうことができる。
場面設定	学校です。学生のラマさんは階段から落ちて腕を怪我しました。今日は病院へ行くために早退したいと思っています。そこで、青木先生に早退の許可のお願いをします。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>三角巾(スカーフなどでもよい)</p> <p>指導のポイント</p> <p>許可をお願いするときの話し方を練習します。「～でもいいですか。」を使って簡単に許可を得る話し方はL9-2でも練習しましたが、ここでは、事情を伝えて許可を得る話し方を練習します。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>きょうはびょういんへ行くので、はやく帰ってもいいですか くらいなので、電気をつけてもいいですか</p> <p>あついから、まど、あけてもいい？ テストがあるので、うちでべんきょうします のことばカード</p> <p>～ので、～でもいいですか ～から、～でもいい？ ～ので、～ の文型カード</p> <p>動詞普通形のフラッシュカード数組、い形容詞普通形のフラッシュカード数組、な形容詞普通形のフラッシュカード数組、名詞普通形のフラッシュカード数組</p> <p>*L12-1の練習1のフラッシュカードの例参照</p>

	<p>「～ので、～でもいいですか」</p> <p>テキスト p.260①</p> <p>場面会話2コマ目の絵を見せて、会話をさせ、セリフを見せて、「きょうはびょういんへ行くので、はやく帰ってもいいですか」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「くらいので、電気をつけてもいいですか」に注目させ、ことばカードを貼ります。「びょういんへ行くので」「くらいので」が理由であることを確認し、「普通形+ので」であることを示します。</p> <p>続いて、動詞、い形容詞、な形容詞、名詞の普通形のフラッシュカードを使って、「普通形+ので」の形に言い換える練習をします。な形容詞の現在形と名詞の現在形が「～なので(例:しずかなので、やすみなので)」の形になることを確認します。学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布し、グループで言い換えの練習をさせます。最初は品詞別に練習し、できるようになったら各品詞のフラッシュカードを混ぜて練習させます。</p> <p>続いて、「～ので、～でもいいですか」の文型カードを貼り、1)～3)の絵を見せて、代入練習をさせます。</p> <p>テキスト p.260②③</p> <p>②は、「しなくてもいいか」という許可をもらうときは「～なくてもいいですか」の形になることを確認します。</p> <p>「～から、～でもいい?」</p> <p>テキスト p.261④⑤</p> <p>④のモデル会話の絵を見せて、ABが友だちであることを示した後、音声を聞かせ、リピートをさせます。セリフを見せて、「あついで、まだあけてもいい?」に注目させ、ことばカードを貼ります。カジュアルな話し方では、「～から、～でもいい?」という形を使って、文末を上昇調のイントネーションで言うことを確認します。理由を述べる「普通形+から」の形はL7-2で練習をしていますが、普通形のフラッシュカードを使って言い換え練習をした後、「～から、～でもいい?」の文型カードを貼ります。その後、1)～3)の代入練習をします。</p> <p>「～ので～」</p> <p>テキスト p.261⑥⑦</p> <p>⑥のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートをさせます。セリフを見せて、「テストがあるので、うちでべんきょうします」に注目させ、ことばカードを貼ります。「～ので」が理由を表すことを確認した後、1)～3)の代入練習をします。学習者を2人組にして、後件を考えさせて、発表させます。</p>
練習2	<p>用意するもの</p> <p>どうしたんですか かいだんからおちたんです おなかがいたいんです のことばカード</p> <p>どうしたんですか ～んです どうして～んですか ～んです の文型カード</p> <p>動詞普通形のフラッシュカード数組、い形容詞普通形のフラッシュカード数組、な形容詞普通形のフラッシュカード数組、名詞普通形のフラッシュカード数組</p> <p>*L12-1の練習1のフラッシュカードの例参照</p> <p>かばん、ノートパソコン、ハンカチ</p>

	<p>「どうしたんですか」「～んです」</p> <p>テキスト p.262①②</p> <p>場面会話1コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「どうしたんですか」「かいだんからおちたんです」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「どうしたんですか」「おなかがいいたいんです」に注目させ、ことばカードを貼ります。</p> <p>「どうしたんですか」が理由を聞きたいという気持ちを表し、それに「～んです」という形で答えていることを確認します。「んです」を使う意味を理解させるには、「どうしましたか」「かいだんからおちました」の会話と対比して発話させます。まず、学習者を2人組にして、一人にそっけない言い方で「どうしましたか」と聞かせ、聞かれた学習者に「かいだんからおちました」と淡々と答えさせます。続いて、1コマ目の絵を見せて会話をさせます。青木先生役の学習者に、心配そうな声のトーンと表情で「どうしたんですか」と声をかけさせ、ラマさん役の学習者には、大変だったと伝えたい気持ちを込めて、「かいだんからおちたんです」と言わせさせます。二つの言い方の違いを声のトーンと表情を変えて発話させて感じさせます。</p> <p>「んです」の意味が理解できたら、「おちたんです」「いたいんです」に注目させ、「普通形+んです」の形であることを確認させます。その後、動詞、い形容詞、な形容詞、名詞の普通形のフラッシュカードを使って、「普通形+んです」の形に言い換える練習をします。な形容詞の現在形と名詞の現在形が「～なんです(例:しずかなんです、やすみなんです)」の形になることを確認します。学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布し、グループで言い換えの練習をさせます。最初は品詞別に練習し、できるようになったら各品詞のフラッシュカードを混ぜて練習させます。続いて、「どうしたんですか。」「～んです」の文型カードを貼り、1)～3)の絵を見せて、代入練習をさせます。</p> <p>「どうして～んですか」「～んです」</p> <p>テキスト p.262③④</p> <p>③のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートをさせます。セリフを見せて、「どうして休んだんですか」「おなかがいなかったんです」に注目させ、ことばカードを貼ります。「どうして～んですか」の形で理由を聞くことを確認した後、1)2)の代入練習をします。学習者を2人組にして、後件を考えさせて、発表させます。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>できますか？</p> <p>学校で学生タンさんと青木先生が話しています。タンさんは歯が痛いので、先生に歯医者に行きたいので早退してもいいかどうか聞きます。先生は心配して、いいと答えます。タンさんはさらに、今日作文の発表ができなくなるが、どうしたらいいかと先生に聞きます。先生は来週でいいと答えます。タンさんが先生に許可のお礼を言うと、先生はお大事にと言います。</p> <p>じゆうに はなしましょう</p> <p>会社です。体調が悪いので早退をしたいです。そこで、課長に許可をもらいます。学習者を2人組にして、自由に会話を考えさせ、発表させます。p.267 コラム4の言葉や表現を使って、会話をさせるというでしょう。</p>

アクティビティ ー	用意するもの かばん、ノートパソコン、紙皿、紙コップ、フォーク はなしましょう 会社です。仕事の時間に間に合わないので、同僚に手伝ってほしいと頼みます。学習者を2人して、練習させたあと、p.265「はなしましょう」のモデル会話のセリフを見せて、自分たちが考えた会話と比較させます。 かんがえましょう・はなしましょう 学習者を3、4人のグループにします。(1)～(4)の絵を見て、困っていることは何か、どうしたらいいかを考えさせ、会話を作らせます。その後、演じて発表させます。
よみましょう	指導のポイント 大学の掲示板のお知らせを読んで、指示を細かく読み取ることが課題です。
かきましょう	指導のポイント 友だちに、約束した予定の変更依頼のメールを書く練習です。 まず、2人組にして、どんな約束か、どう変更してほしいか話し合わせます。その後、同じテーマでメールを書き、書いたら、2人で互いのメールを見て、チェックし合います。それをもとに書き直しをします。 全員のメールを教室の壁に貼りだし、学習者が読んで回ります。その後、気になったこと、わからなかったこと、考えたことなどを全員で話し合います。